

みどりをさがしにでかけよう

No.

9

2019/08

ちが咲き

秋の夜の楽しみ方
鳴く虫の声に耳を傾けてみよう

ミン、ミンとセミの鳴く声が聞こえてくる季節になりました。夏の終わりから秋にかけてスズムシやコオロギなども次々に鳴き始めます。夜に鳴く虫は草地・林縁・湿地などさまざまな環境に生息します。茅ヶ崎市内にはどんな鳴く虫がいるのでしょうか。市内で見られる鳴く虫のことを知れば、観察会がもっと楽しくなりますよ。今号では鳴く虫の紹介と観察会のイベント情報についてお知らせします。

夜の鳴く虫について学ぼう

鳴く虫ってどんな虫？



鳴く虫は、昼に鳴く種類と夜に鳴く種類がいます。今号では夜に鳴く虫について、ご紹介します！鳴く虫と言っても、実際に“鳴いている”のではなく、羽をこすり合わせて“発音”をしているのです。身体の高さや羽の形状、羽の動かし方が虫によって異なるためにそれぞれ違った音を出します。

どうして鳴くのかな？

実は、ほとんどの種類がオスの虫しか鳴きません！オスは、メスを呼び寄せるため一生懸命に鳴きます。そしてメスは、より一層きれいな音を響かせて鳴くオスに引き寄せられていくのです。メスを呼び以外でも、ライバルであるオス同士が、喧嘩をする時に鳴くこともあります。



クサヒバリのオスとメス

鳴く虫を守るために！

鳴く虫の数は年々減ってきています。虫たちのすみかとなる草地環境が少なくなってきたからです。草地を管理する時には、いっぺんに全ての草を刈り取ってしまうのではなく、虫たちのすみかとなる場所を上手く残すように計画しながら、作業を進めていきたいですね。



生きものに配慮して刈り残した草地
(県立茅ヶ崎里山公園内)

しんな虫がいるのかな？

草地



スズムシ リーン、リーンと鳴きます。
ススキなどの丈の高い草むらにいます。



マツムシ チッチロリと金属的な音で鳴きます。
チガヤなどの丈の高い草むらにいます。

林



クツワムシ ガチャガチャとやかましく鳴きます。
クズなどの草が多い場所にいます。



ヤマトヒバリ チッチッ・チッ・チルーと弱く
鳴きます。林の下にいます。

湿地



コバネササキリ シ・ジジ・ジジと鳴きます。

やとだ あげ
谷戸田の畔やチガヤなどが生える湿地周辺に
います。



タンボコオロギ ジェツ・ジェツ・ジェツと
歯切れの良い声で鳴きます。主に水田や休耕田に
います。



観察会に参加してみよう

鳴く虫の観察会 2019

どなたでも無料で参加できます！
詳しくは申込連絡先にお問合せください。

◆8月24日(土) 17:30~20:00

場所：柳谷やなぎやと (県立茅ヶ崎里山公園内)

主催：茅ヶ崎野外自然史博物館
申込連絡先：080-5698-6780 (富岡)
備考：公園内の駐車場代は有料です。

◆8月30日(金) 18:00~20:00

場所：赤羽根字十三区
主催：茅ヶ崎市都市部景観みどり課
共催：株式会社湘南カントリークラブ
申込連絡先：0467-82-1111
(景観みどり課みどり担当)

◆9月8日(日) 17:00~19:30

場所：平太夫新田 (相模川河畔林内)
主催：相模川の河畔林を育てる会
申込連絡先：0467-82-5587 (村中)
備考：公共交通機関利用。駐車不可です。

服装と主な持ち物



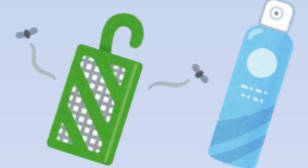
◆飲み物



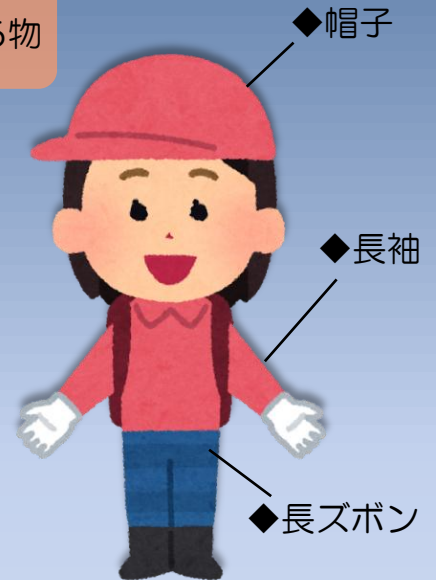
◆懐中電灯



◆タオル・ハンカチ



◆虫除けアイテム
(あると便利です)



◆観察時のマナー

観察に夢中になって私有地に入らないように！

虫刺されや熱中症、けがなどに気を付けて
しっかり準備した上で参加しましょう！



セミの羽化を観察しました！

7月17日 18時30分から20時00分まで約50人で茅ヶ崎中央公園内にあるセミの羽化を観察しました。懐中電灯を当てて、まだかな…とみんなで待ちましたが、今年はセミの発生が遅く、残念ながら殻を抜け出る瞬間は見られませんでした。それでも羽化途中のセミや幼虫は見る事ができました。来年は見られるといいですね。ぜひ観察会に参加してみてください！